allcinema

ゴダールのリア王（1987）

KING LEAR

メディア 映画
ジャンル アート
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 91分
初公開日 1998/08/10
公開情報 コムストック

【キャッチコピー】
「イマージュは、　魂の純粋な　創造物である。」

【解説】
　冒頭、作家のノーマン・メイラー父娘が出てきて、彼らがリア王とクローディアに扮するのかと思いきやすぐに消えて（悶着があったらしい）、それはそのままＢ・メレディスとＭ・リングウォルドに受け継がれる。彼らはかのシェークスピアの古典悲劇の、年老いた父と最も親孝行な末娘のやりとりを、旅をしながらボソボソ続けている。そこにつきまとうのが、シェークスピア５世を名乗る青年。彼は先祖の偉業を現代的に書き改めようとしているのだが、その営為がすなわち本作の主調音と重なってくる。“イメージとリアリティ”の相互関連についての見解が、時に青年の独白で、あるいはゴダール本人が演じる、髪にフィルム屑等々結いつけた奇妙な扮装の（おまけに口をポパイ風に歪ませている）“教授”によって、いわくありげに語られ、“脱構築”への岐点に立つ表現芸術一般の問題が浮上する。難解と言うより、かなり混乱をきたしている内容で、のっけから敗北宣言に近い囁きが入るのには驚かされる。キャノン映画製作ということが気宇壮大な冗談にも思える作品だが、ゴダールらしい崇高な瞬間はそこかしこに現われ、失望はしない。最後に編集マン役でウディ・アレンが登場するのにもフイを突かれた。当初はビデオ発売のみだったが、98年夏に初めて劇場公開された。

【クレジット】

監督	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard
製作	メナハム・ゴーラン	Menahem Golan
	ヨーラン・グローバス	Yoram Globus
脚本	ノーマン・メイラー	Norman Mailer
脚色	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard
撮影	カロリーヌ・シャンプティエ	Caroline Champetier
	ソフィー・マンティニュー	Sophie Mantigneux
出演	ウディ・アレン	Woody Allen
	レオス・カラックス	Leos Carax
	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard
	ノーマン・メイラー	Norman Mailer
	ピーター・セラース	Peter Sellars
	バージェス・メレディス	Burgess Meredith
	モリー・リングウォルド	Molly Ringwald
	ジュリー・デルピー	Julie Delpy

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.